

科目名	授業形態	単位数	担当教員名
乳児保育Ⅱ	演習	1	川戸 良子
【授業のテーマ及び到達目標】 乳児保育に必要な理論や知識を学習し、人間発達における乳児期の意義や重要性について理解を深める。乳児を担当する保育者としての役割や責任感を自覚し、乳児保育の望ましい方向性を探ると共に保育の動向についての考察を深める。			
【授業の概要】 乳児保育Ⅰの授業や保育所実習における乳児との関わりを基に、乳児保育の理念と役割を理解し、模擬保育なども通して乳児保育における保育士の役割を再考する。			
【全体の授業計画・内容】			
1. オリエンテーション・乳児保育について			
2. 乳児の人との関わり			
3. 基本的生活の内容の内容と方法			
4. 乳児期の子育てと保育(グループワーク)			
5. 乳児期の子育てと保育(グループワーク・発表)			
6. 乳児保育が必要とされる場			
7. 乳児と絵本・手遊び			
8. 乳児と絵本・手遊び(模擬保育と記録)			
9. 乳児と遊び			
10. 乳児と遊び(模擬保育と記録)			
11. 実習からの学び・考察			
12. 手作り教材・おもちゃの研究			
13. 手作り教材・おもちゃ作り			
14. 教材・おもちゃ 発表・考察			
15. 授業のまとめ			
【準備学習の内容】			
予習のあり方:保育所実習などにおける乳児との関わりを今一度思い出すこと。			
学習のあり方:受け身ではなく、実際の子どもの姿・保護者の姿を想像しながら受講すること。			
復習のあり方:授業で得た内容を基に、実習などにおける自分自身の保育現場での乳児との関わりを再考してみる。			
【成績評価】			
(模擬保育における記録、手作りおもちゃ):70% テスト:30%			
【課題(試験・レポート等)に対するフィードバックの方法】			
小テストやレポートにコメントを記入し返却する。			
【テキスト】			
乳児保育研究会編「改訂4版 資料でわかる乳児の保育新時代」ひとなる書房			
【参考文献】			
保育所保育指針解説書			